

若頭の偽嫁は
今夜も束縛から
逃れられない





あーん

拜啓
天国の
お父さんお母さん

あーん
信一郎さん…

あーん
もおやすませて
ください…ッ



あーん
まだまだ…

あーん
激しくも
どこか
懐かしくて甘い

あーん
この
偽りの夫婦生活は
いつまで
続くのでしょうか…



あーん
もう少し
付き合え…

あーん
あ…ん



うわっ
仕事
遅刻する…っ！



あ
そうだった…



あっ
こんな格好
のまま…!?

身体
大丈夫か
香菜…



もう私
あんなブラック会社
辞められたんだ…



そうだ
昨日の夜も
あのまま
気失って…

ぎゅ



ちゅ

ぎゅ

どうして
そんな
優しい顔…



いえ…

だって
私たちは…



また
昨日も

無理
させたな

偽装夫婦の契約を
しているだけなのに...!!



一ヶ月前

はぁあ...
今日も
疲れた...

今日も今日とて
残業だし...
散々な目にあつたな

3年前
両親が
事故に遭い

天涯孤独になった私は
両親が抱えた多額の借金を
返すために大学を中退した

もう
限界かも...

運よく
就職はできたけれど
ブラック会社での労働は
失敗ばかりのツライ毎日...

私の人生
こんなはずじゃ
なかったのになあ...

よお
香菜あ〜!





いや...っ

この身体
使いまくって
金返せよお...

せっかく
男好きそうな身体
してんだ

ま
待ってください...

残りの借金
五百万円
いつになったら
払うんだよ？



おい
やめろ...

そ
んな...っ



信一郎さん…!!

更に
やばそうな人
きた…っ



その女は

見張っておけ
とだけ
言ったはずだ…



信一ろ…?

!?

あ



…で
俺のこと
覚えてないのか？



え…



おいしいけど
怖い…

というか
なにこの状況…



借金取りの顔なんて
怖くてちゃんと
見たことないし
覚えてないよ…



すみません

おかわり
遠慮なく言えよ

こんなに
たくさんご馳走して
もらっても

今すぐ借金は
全額返せないです…

でも私には
大事なものは
生きる希望も
もう無いので

会社を辞めて
カラダを売ってでも
ちゃんとお返します…

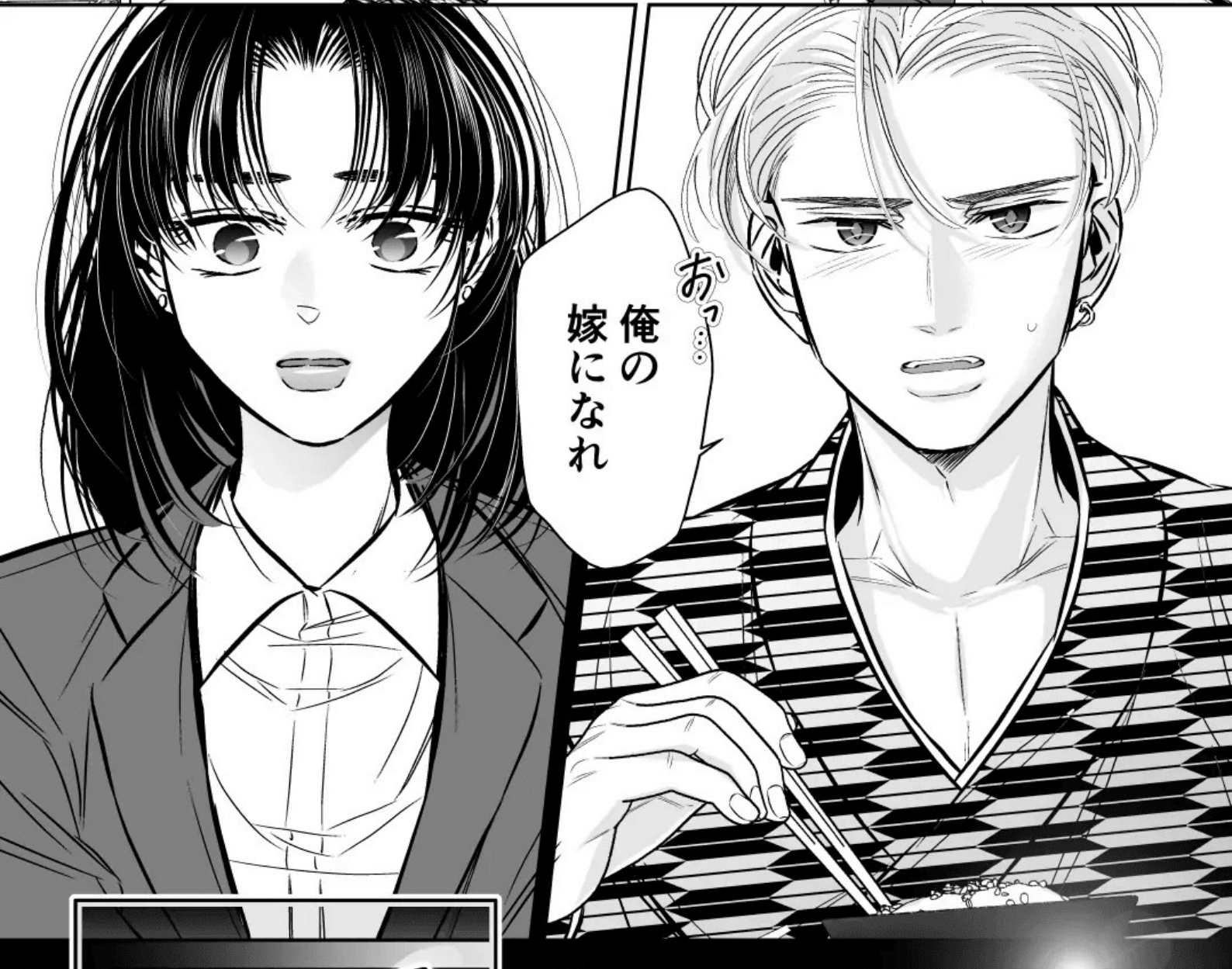


大事なもの
ねえ…

ふーん

じゃあ
借金は無しに
してやるよ

え…？





おめでとう
ございます
若!

嫁さん
べっぴんやなあ

あれが噂の
海外帰りの若頭
ですか

去年
病気で死んじまった
あいつの母親が
住んでいた国で

ついこの間
日本へ
戻ってきてな!

ガキの頃から
暮らしてたん
だけだよ

海外の大学で
経営のノウハウを
学んでたから

そろそろうちの
手つけてる企業も
拡大させて
全部任せようと
思ってたんだけどな

はー
今時の
インテリってやつ
ですかあ

うちも
世界進出
ですな!



私が嫁…？
なっ
何を言ってる…？



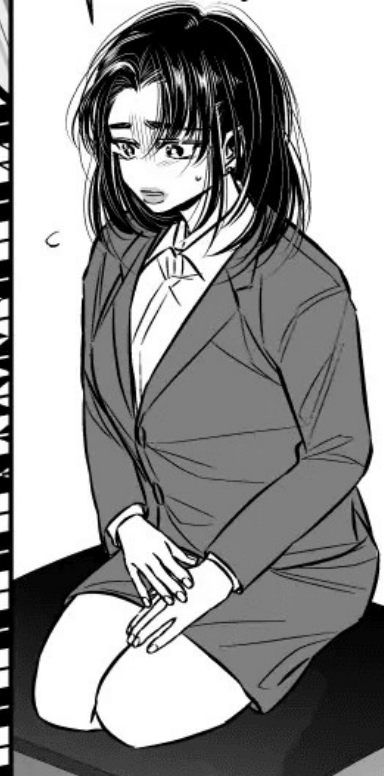
ああ

配偶者を
作るときや
海外マフィア
との闇取引とか…

オヤジ達から
組の面倒事を
押し付けられなくて
済むから楽なんだよ



マフィア
闇取引…？
そんなこといきなり
提案されても
この家の嫁なんて
私には無理です…



よっ
嫁のフリも出来ないなら
一時間以内に
五百万返済しろ…！

できなきゃ本来払うべき
お前が一生働いても
払えない分の利息も
キツチリ請求するからな



そっ
そんな…

ビクッ

こうして
出会って
一ヶ月後には



極道の嫁(偽)

ふわあぁあ...

に
私はなっていた
わけだが.....



美味しい
ごはん

顔は怖い
けれど
優しい義父

飲め飲め!

信一郎を
よろしくな!

あったかい
お布団に
広いお家

ほわっ
ほわ



つらかった仕事も
一瞬で辞められたし
借金の不安も
全部消えた...!

掃除も料理も
しなくていいし

このままなら
これからの人生
最高なのでは...!?

ぬくっ
ぬくっ
ぬくっ

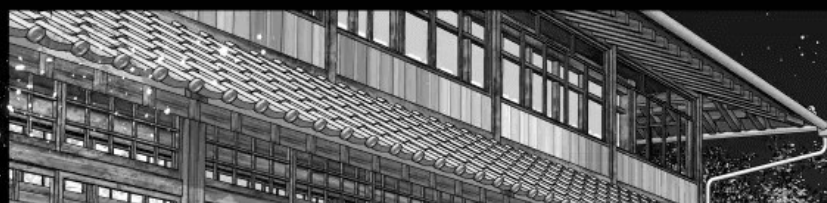




……っ



妻って役割は
書面上だけで
本当に
なにもしなくて
いいなんてラッキー！



次の日



それに
布団も一組
増えてる……？

あれ？
私……
こんな
派手なバジャマ
持ってたっけ……？



エロすぎるだろ...



やっぱり
似合う...っ

し...
信一郎さん...?



なんの...?



はあ...
もうっ
我慢の限界だ...!

きゃ...っ

む! きゃ

あ!



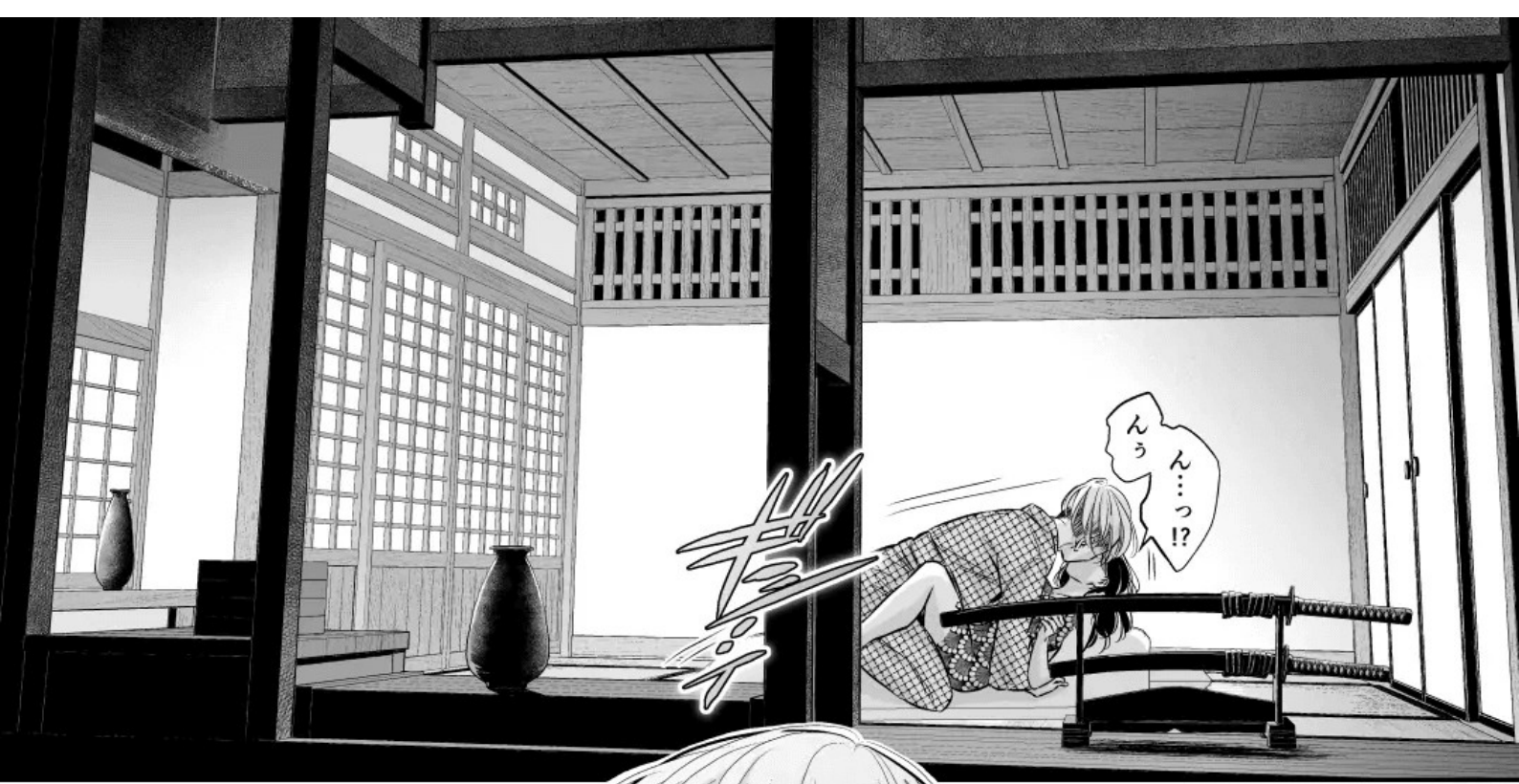
夫婦の営み

ってやつに
決まってるだろ

え...？



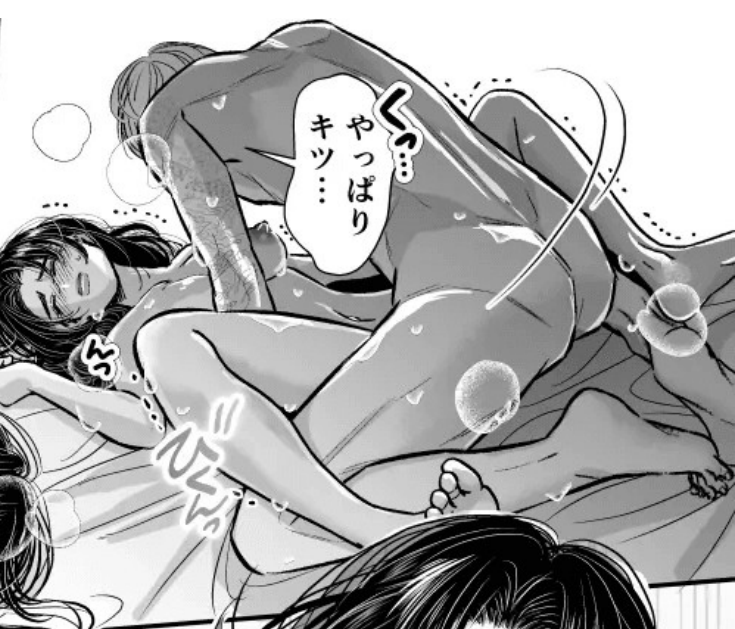
!!







男を
近づけさせ
ないように
ずっと
見張らせてたからな...





その夜から
毎晩のように



信一郎さんに
カラダを
求められたけれど…

あ♡

これはただの
性欲処理の相手…

ふっ
香菜…

少し
休んでから
またするぞ

本当の夫婦みたいに
愛されてるなんて
勘違いしちゃ
ダメなんだから…

ほあ？

ほ？

ほあ？





絶対に
だめだ

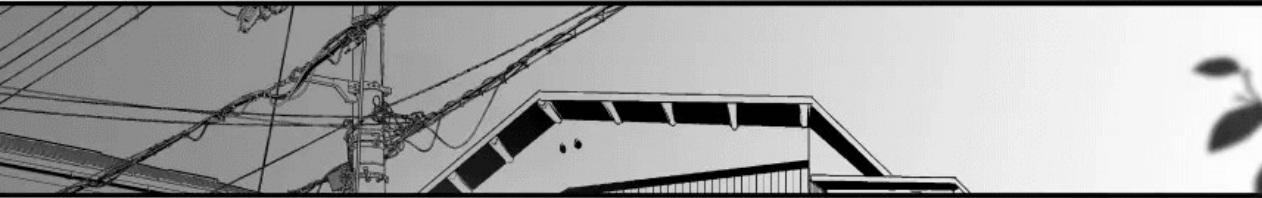


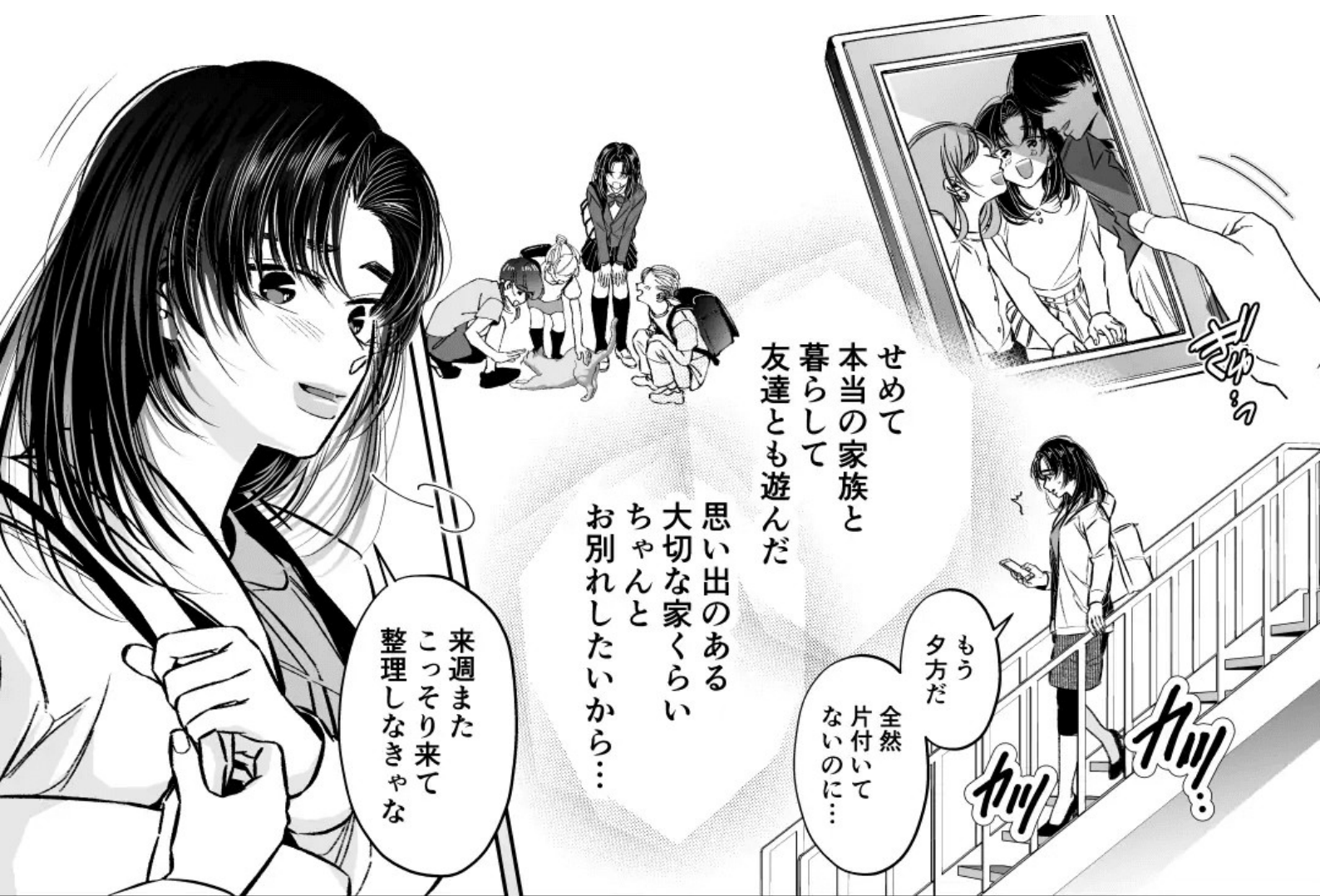
あのアパートには
大事なものをたくさん
置いたままで...

すぐ近所だし
大丈夫だと...

でも
でも

香菜は
1人で
外出するな
って言っただろ





せめて
本当の家族と
暮らして
友達とも遊んだ

思い出のある
大切な家くらい
ちゃんと
お別れしたいから…

来週また
こっそり来て
整理しなきゃな

もう
夕方だ

全然
片付いて
ないのに…



おいっ
暴れんな

もっと
押さえつけてろ！

これが唯木組
若頭の嫁か

こんな
貧乏くさい女とは
思わなかったぜ

とりあえず
全部脱がせて
撮り始めちまえ……！

んら……？



いや...あつ

やだ...っ

俺の女に...

あつ...





さっきの
敵対している組やつらは
部下に
後始末はまかせたが…

香菜が
一人で行動しなきゃ
こんな大ごとには
ならなかっただろうな



どうして
香菜は
俺の言うことを

聞いてくれ
ないんだ…!!

ご…
ごめんなさ…



…香菜が

無事で
本当によかった

ちゅ
?!



頼むから
もう二度と

俺のそばから
勝手にいなく
ならないでくれ…

信一郎さん…

はぁっ



香菜の身体を
他の男に
触られたなんて

やっぱり
許せないな

あ……っ

……でも

え？



他の部分も
触られてないか

身体の隅々まで
チェックしないと……









あ…♡

あ…♡

これ♡
子宮のどこ♡
きちゃ…♡

ズンズンズンズン



あ…♡
だめ…♡

もお♡
イツちゃ♡
います…♡

あ…♡
深…♡

あ…♡
あ…♡
あ…♡

ズンズンズンズン



好き♡
なんだ？♡

こんな風♡
に♡
ビドクされるの♡

あ…♡
いやあ…♡

あ…♡
奥♡
グリグリ♡
しないでえ…♡

ズンズンズンズン



俺が
いくまで
先にイッたら
許さないからな



イッちゃ...

やあ... あっ



もっと
締めつけて
イカせろ...







ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

あん...
あん...



ぽん

ぽん

ちゅ

ん...

フランスに
引越しても
絶対に...
ほくのこと
忘れないでね

グス...

